

このヒント集について

このヒント集は さくら さんの学習状況に合わせて作成されています。

- 年齢層: 小学4年生
- 詳細度: 4 (丁寧に説明)

今回の試験は中学入試レベルなので、普段より難しい問題が多いです。

わからない問題があっても大丈夫。ヒントを見ながら、少しずつ考えていきましょう。

Q1 のヒント (漢字の読み)

ステップ1: 文章の意味を考えよう

- (1) 「頂上」: 山の一番上のところ
- (2) 「指導」: 教えてもらうこと
- (3) 「借用」: 借りること
- (4) 「克服」: 困難を乗り越えること
- (5) 「記録」: 書き留めること

ステップ2: 読み方を考えよう

- 熟語は音読みで読むことが多いよ
- 知っている漢字と組み合わせて考えてみよう

キーワード: ちょうじょう、しどう、しゃくよう、こくふく、きろく

Q2 のヒント (漢字の書き)

ステップ1: 意味を確認しよう

- (1) 「やくそく」: 必ず守ると決めること
- (2) 「きろく」: 書いて残すこと
- (3) 「せいかく」: 間違いがないこと
- (4) 「かんどう」: 心が動かされること
- (5) 「りょこう」: 旅に出ること

ステップ2: 注意点

- 同じ音でも違う漢字があるから、文脈で判断しよう
- 画数や部首に気をつけて書こう

キーワード: 約束、記録、正確、感動、旅行

Q3 のヒント (物語文: 心情理解)

ステップ1: 文章をよく読もう

- 「ぼく」は公園のベンチで何をしていた？
- 学校で何があった？

ステップ2: 「ぼく」の気持ちを考えよう

- 太郎が冷たい態度を取るようになった
- 理由がわからない
- こんなとき、どんな気持ちになる？

ステップ3: 選択肢を選ぼう

- 楽しい気持ち? → 違うよね
- 悲しい気持ち? → これが近そう
- 怒っている? → 本文には書いてないね
- 眠い? → 違うね

キーワード: 嫌なことがあった、落ち込んでいる

Q4 のヒント (物語文: 気持ちの変化)

ステップ1: 花子さんの言葉を確認しよう

- 「太郎君も何か悩みがあるのかもしれないよ」
- この言葉を聞いて、「ぼく」はどう思った？

ステップ2: 「ぼく」の気づきを読み取ろう

- 「はっとした」← 気づいたということ
- 「太郎にも何か事情があるのかもしれない」
- 「自分のことばかり考えていて、太郎の気持ちを考えていなかった」

ステップ3: 答えを選ぼう

- 太郎の立場に立って考えるようになった ← これだね!

キーワード: 相手の気持ち、立場を考える

Q5 のヒント (物語文: 記述問題)

ステップ1: 「心が軽くなった」のはいつ？

- 「そう決めると」の後だね
- 何を決めたの？

ステップ2: 決めたこと

- 「明日、太郎にちゃんと話を聞いてみよう」
- これを決めたら、心が軽くなった

ステップ3: 40字以内でまとめよう

- なぜ軽くなったかを書く
- 「～から」「～ので」を使うといいよ

例の書き方:

「明日太郎と話すと決めたから。」（15字）

「太郎にもう一度話を聞いてみると決めたから。」（21字）

キーワード: 決意、前向き、行動しよう

Q6 のヒント（物語文：表現技法）

ステップ1: 表現技法の種類を確認しよう

- 比喩：～のように、～みたいに（たとえる）
- 擬人法：物を人のように表現する
- 対比：2つのものを比べて違いを示す
- 反復：同じ言葉を繰り返す

ステップ2: 文章の中で探そう

- この物語では、「ぼく」の気持ちの「before」と「after」が描かれているね
- 最初は落ち込んでいた → 最後は前向きになった
- これは何の技法かな？

ステップ3: 答えを選ぼう

- 対比（気持ちの変化を対照的に描いている）

キーワード: 心情の変化、before & after

Q7 のヒント（説明文：要旨理解）

ステップ1: 全体を読み返そう

- 最初の段落：言葉には不思議な力がある
- 最後の段落：言葉を大切に選ぶ習慣が大切

ステップ2: 筆者が言いたいこと

- 言葉の「選び方」が重要
- 自分と他人の心に影響を与える

ステップ3: 選択肢を見よう

- イが一番近いね！
- 「言葉の選び方は自分と他人の心に影響を与える」

キーワード: 言葉の力、選び方、心への影響

Q8 のヒント（説明文：記述問題）

ステップ1: 第4段落を読み返そう

- 「頑張れ」の問題点は？

→ 命令的に聞こえることもある

- 「あなたならできる」の良い点は？

→ 相手の能力を信じているメッセージ

ステップ2: 50字以内でまとめよう

- 2つの違いを説明する
- 「～から」を使うといいよ

例の書き方:

「『頑張れ』は命令的だが、『あなたならできる』は相手の能力を信じているメッセージが伝わるから。」（44字）

キーワード: 命令的、能力を信じる、自信を与える

Q9 のヒント（説明文：論理構成）

ステップ1: 文章の流れを整理しよう

- 最初（第1段落）：言葉には不思議な力がある（主張）
- 中（第2～4段落）：テストの例、自分への言葉、他人への言葉（具体例）
- 最後（第5段落）：言葉を大切に選ぶことが大切（まとめ）

ステップ2: 構成パターンを選ぼう

- 主張 → 具体例 → まとめ

キーワード: 論理展開、構成

Q10 のヒント（言語知識：慣用句・ことわざ）

ステップ1: それぞれの意味を確認しよう (1) 猫の手も借りたい

- 意味：とても忙しくて、誰でもいいから手伝ってほしい様子
- 答え：ア

(2) 石橋を叩いて渡る

- 意味：丈夫な石橋でも叩いて確かめてから渡る→とても慎重な様子
- 答え：イ

(3) 灯台下暗し

- 意味：灯台の真下は暗い→身近なことほど気づかない
- 答え：ウ

キーワード: 慣用句、比喩的表現

全体のアドバイス

- 中学入試レベルの国語だから、難しく感じても大丈夫だよ
- 読解問題は、文章の中に答えのヒントがあるよ
- 記述問題は、まず自分の言葉で考えて、それから字数に合わせて調整しよう
- 漢字は丁寧に書こう。「とめ・はね・はらい」に注意してね
- わからない問題は飛ばして、後で戻ろう
- 時間配分に気をつけて、最後まで頑張ろう